

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

日時 平成 28 年 4 月 19 日（火）午前 9 時 25 分～午後 1 時 57 分
出席者 植中委員長、桑原田副委員長、山本委員、望月委員、立入委員
説明員 教育部長、教育部次長、学校教育課長、生涯学習課長、生涯学習課参事、
健康福祉部長、健康福祉部理事、子育て支援課長

1) 所管事務調査：中学生の進路指導について（教育部学校教育課）

○概要説明

- ・ 幼児期からの発達段階に応じた、社会的・教育的自立にむけての系統的なキャリア教育を実施している。
- ・ 個々のニーズにあった職業教育の教育方針に基づき、中学生段階では、「目標をたてて、計画的に取り組む」、「社会における自分の生き方、役割を考える」ために、職場体験、職業調べ、ボランティア体験、高校体験入学を実施している。
- ・ 本人と担任の二者懇談（年 3～5 回）、保護者を加えた三者懇談（年 2～3 回）を実施し、また、進路担当を中心にした進路検討会では、学年全体で、生徒の適性、資質を検討し、本人が主体的に進路を選ぶよう意識づけている。

○主な質疑と意見

【質疑】 ケース会議のやり方は。

【答弁】 メンバーは、学年担当、進路担当、他に管理職が入る場合もある。生徒全員に対して進路を検討している。内容は、試験の点数だけではない。

【質疑】 保護者と学校の連携や保護者への発信は。

【答弁】 多種多様な、個性に応じた進路を説明している。本人の希望以外の進路も示している。

【質疑】 懇談での子どもの要望は。

【答弁】 本人の適正、力量に応じた、具体的な進路先（学校）を提示してアドバイスしている。最終的な進路決定は本人がしている。

- 【質疑】 内申書の重みについて。
- 【答弁】 内申書は、生徒指導要録に基づいて、3年間でがんばった実績や成績を中心に記録している。判断は、高校側の裁量になる。
- 【質疑】 不登校、特別支援等、支援を必要とする生徒に対する連携、引継ぎは。
- 【答弁】 中高連絡会議や進学先から出身中学への訪問により、生徒の体調面等の配慮もしてもらっている。湖南省、甲賀市では中学校卒業後の個別の支援情報の引き継ぎ会を開催している。平成27年度は、進路先から34名、出身校から17名の関係者がこの会議に出席し、のべ61件のケースについて情報交換した。
- 【質疑】 スポーツ特待生には、けがをした際のリスク等をしっかりと説明する配慮を。
- 【答弁】 待遇は、高校側の基準によるが、二者・三者懇談の中でも説明している。

2) 所管事務調査：通学路の危険箇所対策について（教育部生涯学習課）

○概要説明

- ・ 平成27年2月に、通学路安全対策会議を立ち上げ、「危険箇所の把握」、「合同点検の実施」、「対策の検討、実施」、「対策効果の把握」に取り組み、公表する。
- ・ 平成28年度の県からの補助金は、市の計上分に対し、50%の内示率が示された。市の予算からも、道路維持補修費の中でやりくりする予定である。この予算では、歩道新設等の大きな整備はできず、本委員会では、さらに安全面で効果的な整備ができる予算を確保する取り組みを検討していくこととした。
- ・ 旧東海道の危険箇所には、「通学路要注意」の反射板を、電柱に貼り付ける検討をしている。

○現地調査

担当からの概要説明の後、①から⑥の順に現地調査。

- ① 石部中学校区 宝来坂信号～石部南小信号
市道狐谷線の宝来坂交差点～石部南小交差点
- ② 石部小学校区 県道石部停車場線西庁舎前信号の一筋西側の南北線交差点

- ③ 甲西中学校区 旧東海道平松保育園入口交差点
- ④ 三雲小学校区 旧東海道針交差点
- ⑤ 甲西中学校区 旧東海道サンビレッジ入口交差点
- ⑥ 甲西中学校区 旧東海道吉永交差点



3) その他：湖南省立認定こども園の現状について（健康福祉部子育て支援課）平成28年4月からスタートした認定こども園について状況説明を受ける。

○平松こども園

- ・ 定員140名に対し、現入園児129名（今後143名になる予定）
- ・ スムーズにスタートできている。

○菩提寺こども園

- ・ 定員210名に対し、現入園児190名（北園舎：0～3歳児83名、南園舎：4～5歳児107名）
旧菩提寺幼稚園児の中で、大人数になったため、戸惑う子がいるが、注視して対応している。
- ・ 兄弟姉妹で園舎が分かれた場合の送園問題について、早朝送園支援事業を実施し、職員が引率して3往復している。今後、予算がつけば委託の予定。
- ・ 南園舎の駐車場は、ロータリー形式にしたが、ルールになじめない保護者もいる。周知が必要。

年度当初の保育士は確保できている。県制度を活用して、潜在保育士を発掘する。さらなる処遇改善は、国の単価が上がらないと、市独自では難しい。